

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	卒業研究 (Graduation Thesis)		
ナンバリングコード	L41206	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 総合レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	6	配当学年 / 開講期	4年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120613	クラス名	木村研究室
担当教員名	木村 智		
履修上の注意、履修条件	木村研究室に配属された学生だけが履修可能です。指導教員の教育的指導に従いながら大学での学習の集大成である「研究」を完成させてください。研究活動を通じて、人生の節目となる有意義な研究成果と作品を期待しています。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	参考著書などを適宜紹介します。しかし、研究に必要な資料を自分で見つけ出すことも今後必要な能力なので、受け身にならず自分で探し出す作業も惜しまず行ってください。		
関連科目	各自の研究テーマに関係するすべて		

○基本情報	
授業の目的	卒業研究は大学4年生の集大成です。卒業研究では、自主的な取り組みはもちろんのことですが、能動的に問題意識をもち、発想し、それを発展させ、調査方法を発案し、調査し、調査結果を分析し、さらに分析結果から論理を構築し、成果としてまとめ上げ、第三者に対してわかりやすく発表するという、総合的な能力が問われます。これまでに受講したすべての講義や実習を基礎とし、各自が最も興味を持つ分野を研究している教員を指導教員として選び、その指導のもとで卒業論文または卒業設計を完成させます。
授業の概要	指導内容は学生によって異なりますが、一般的にはじめに卒業研究の概要の説明を受け、各自で取り組むテーマを設定し、設定したテーマについて予備研究を行います。指導教官のもとで、調査、観測、実験、解析、設計などの研究を自主的に行います。データの整理、検討を行い、あるいは設計図書をまとめ、卒業論文または卒業設計を期限までに仕上げ提出し、審査を受けます。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「反転授業」
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	研究テーマを自分なりの問題設定することができる。		20点	
【知識・理解】	卒業研究や設計に関する総合的知識の習得と応用をすることができる。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	設計した建築物の内容を様々な表現媒体で適切に表現することができる。		20点	
【思考・判断・創造】	研究の目的に即した調査方法と分析方法を選定し、学びながら実行することができる。研究計画を立て、それに即して実行し、締め切りに合わせてまとめ上げることができる。		20点	20点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
学位取得に相応しい研究内容とする。 学位取得に相応しい研究発表とすること。

○その他
卒業論文や卒業設計を問わず、前期の夏期休暇までにA4用紙4枚程度の小論文を提出してもらいます。活動内容を研究室のホームページに掲載することがあります。Http://www.nbu.ac.jp/~kimurast/ フィードバックについては、次回の授業内等で適宜行います。

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	卒業研究 (Graduation Thesis) 木村 智	授業コード	L120613
学修内容				
1. ガイダンス、研究テーマの紹介 卒業研究もしくは卒業設計のうちどちらかを選択し、それぞれにおいてテーマを設定します。卒業研究に関しては、研究室で継続して行なっている研究テーマや指導教員の関心のあるテーマを紹介し、また、タイムスケジュールも設定します。				
予習	卒業研究もしくは卒業設計のテーマ設定、年間予定表の作成と発表準備。			約2時間
復習	テーマの明確化とそのための文献調査、実地調査の計画と実施等。			約2時間
2. テーマの検討 各自で設定したテーマに沿って調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションしてもらい、ゼミのメンバーで討論します。その結果、を踏まえて、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマ設定そのものを見直します。				
予習	各自のテーマに基づく調査や制作についての経過報告のための発表準備。			約2時間
復習	卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。			約2時間
3. テーマの検討 各自で設定したテーマに沿って調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションしてもらい、ゼミのメンバーで討論します。その結果、を踏まえて、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマ設定そのものを見直します。				
予習	各自のテーマに基づく調査や制作についての経過報告のための発表準備。			約2時間
復習	卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。			約2時間
4. テーマの検討 各自で設定したテーマに沿って調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションしてもらい、ゼミのメンバーで討論します。その結果、を踏まえて、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマ設定そのものを見直します。				
予習	各自のテーマに基づく調査や制作についての経過報告のための発表準備。			約2時間
復習	卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。			約2時間
5. 既往研究の調査 検討したテーマに関する既往研究を調査して、その内容について発表してもらいます。				
予習	研究テーマに関連する既往研究の調査。			約2時間
復習	研究テーマの研究目的、方法の検討。			約2時間
6. 既往研究の調査 検討したテーマに関する既往研究を調査して、その内容について発表してもらいます。				
予習	研究テーマに関連する既往研究の調査。			約2時間
復習	研究テーマの研究目的、方法の検討。			約2時間
7. 既往研究の調査 検討したテーマに関する既往研究を調査して、その内容について発表してもらいます。				
予習	研究テーマに関連する既往研究の調査。			約2時間
復習	研究テーマの研究目的、方法の検討。			約2時間
8. 研究方法の決定 既往研究の調査から読み取れた研究対象を調査・分析する方法を決定します。				
予習	研究対象の調査・分析方法の検討を行う。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所を修正する。不足する部分は追加の調査を行う。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	卒業研究 (Graduation Thesis) 木村 智	授業コード	L120613
学修内容				
9. 調査結果の分析 調査結果を分析します。				
予習	調査した内容の分析を行い、その結果をパワーポイントなどで発表できるようにまとめる。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
10. 調査結果の分析 調査結果を分析します。				
予習	調査した内容の分析を行い、その結果をパワーポイントなどで発表できるようにまとめる。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
11. 調査結果の分析 調査結果を分析します。				
予習	調査した内容の分析を行い、その結果をパワーポイントなどで発表できるようにまとめる。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
12. 論文の作成 研究した内容を論文にまとめていきます。				
予習	研究内容を論文形式でまとめる。その一部を発表するための準備をする。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
13. 論文の作成 研究した内容を論文にまとめていきます。				
予習	研究内容を論文形式でまとめる。その一部を発表するための準備をする。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
14. ゼミ内発表会の準備 研究した内容をパワーポイント等を用いて発表する準備を行います。				
予習	研究内容をパワーポイントで発表できるようにまとめる。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
15. 研究内容の発表 夏季休業前にA4用紙4枚程度の小論文を作成してもらい、その内容について発表します。				
予習	研究内容の発表の準備をする。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
16. 前期のまとめ 前期の研究活動を振り返り、問題点を見出して後期の活動に活かします。				
予習	前期の活動を反省して、修正した箇所を列記する。夏季休暇中の活動計画を立てる。			約2時間
復習	指摘箇所を改善し、下記休暇中の活動計画の再検討を行う。			約2時間

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	卒業研究 (Graduation Thesis) 木村 智	授業コード	L120613
学修内容				
17. ガイダンス、卒業論文と卒業設計の再検討 卒業論文にするか卒業設計にするかの最終的な決定を行います。次週からの発表順番の決定。				
予習	卒業論文と卒業設計における問題意識や調査したいことを報告する準備を行う。			約2時間
復習	決まった方向性について、再度問題意識やコンセプトなどの再検討を行う。			約2時間
18. 研究テーマの再検討 各自が考えるテーマに沿って調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションしてもらい、その内容についてゼミのメンバーで討論します。その結果を踏まえて、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。				
予習	自分で行いたい卒業論文と卒業設計に関する既往事例の調査を行う。			約2時間
復習	発表内容の反省、授業内で指摘を受けたことに対する補足の調査をおこなう。			約2時間
19. 研究テーマの再検討 各自が考えるテーマに沿って調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションしてもらい、その内容についてゼミのメンバーで討論します。その結果を踏まえて、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。				
予習	自分で行いたい卒業論文と卒業設計に関する既往事例の調査を行う。			約2時間
復習	発表内容の反省、授業内で指摘を受けたことに対する補足の調査をおこなう。			約2時間
20. 既往研究の調査 検討したテーマに関する既往研究を調査して、その内容について発表してもらいます。				
予習	研究テーマに関連する既往研究の調査。			約2時間
復習	研究テーマの研究目的、方法の検討。			約2時間
21. 既往研究の調査 検討したテーマに関する既往研究を調査して、その内容について発表してもらいます。				
予習	研究テーマに関連する既往研究の調査。			約2時間
復習	研究テーマの研究目的、方法の検討。			約2時間
22. 研究方法の決定 研究対象を調査・分析する方法を決定します。				
予習	研究対象の調査方法の整理して、自分で行いたい研究に合う調査方法を検討する。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所を修正する。不足する部分は追加の調査を行う。			約2時間
23. 分析結果の報告 調査結果を分析し、その結果を報告します。				
予習	調査内容を分析し、その内容をパワーポイントやレジュメで発表できるようにする。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所を修正する。不足する部分は追加の調査を行う。			約2時間
24. 分析結果の報告 調査結果を分析し、その結果を報告します。				
予習	調査内容を分析し、その内容をパワーポイントやレジュメで発表できるようにする。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所を修正する。不足する部分は追加の調査を行う。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	卒業研究 (Graduation Thesis) 木村 智	授業コード	L120613
学修内容				
25. 分析結果の考察 分析結果を考察して、結論をまとめた内容を説明してもらいます。				
予習	分析結果の考察を行い、結論をとってまとめたものを説明できるようにする。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所の修正。補足の調査を行う。			約2時間
26. 分析結果の考察 分析結果を考察して、結論をまとめた内容を説明してもらいます。				
予習	分析結果の考察を行い、結論をとってまとめたものを説明できるようにする。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所の修正。補足の調査を行う。			約2時間
27. 論文の作成 研究した内容を論文形式にまとめていきます。その途中経過をしてもらいます。				
予習	分析・考察の結果を論文の体裁で文章でまとめる。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所の修正。補足の調査を行う。			約2時間
28. 論文の作成 研究した内容を論文形式にまとめていきます。その途中経過をしてもらいます。				
予習	分析・考察の結果を論文の体裁で文章でまとめる。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所の修正。補足の調査を行う。			約2時間
29. プレゼンテーションの準備 卒業研究発表会に向けて、梗概とパワーポイントを作成して、発表練習を行います。				
予習	研究内容をパワーポイントで発表できるようにまとめる。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
30. プレゼンテーションの準備 卒業研究発表会に向けて、梗概とパワーポイントを作成して、発表練習を行います。				
予習	研究内容をパワーポイントで発表できるようにまとめる。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
31. 卒業研究発表会 卒業研究発表会で発表します。				
予習	完成された卒業論文または卒業設計に基づく発表資料の作成。			約2時間
復習	各自の研究成果と発表で指摘された内容から、改めて自分と研究した建築について考察する。			約2時間
32.				
予習				
復習				